



広島市女性団体連絡会議 広報紙 第41号 2016年3月

広島市女性団体連絡会議(ひろしまWENET)は、設立20周年を迎えました。 ～ 20周年記念特集 ～

目次

● ひろしまWENET会長挨拶「設立20周年にあたり」	1
● 広島市長祝辞「お祝いの言葉」	2
● 歴代会長メッセージ	3
● ひろしまWENETの歩み(2005年～2014年)	4、5
● DV防止セミナー(報告)	6
● 2016国際女性デーひろしま(報告)	7
● 活動報告、ひろしまWENETからのお知らせ	8

設立20周年にあたり

広島市女性団体連絡会議会長 貴田 月美



広島市女性団体連絡会議(ひろしまWENET)は2015年2月に設立20周年を迎えました。

「平等・発展・平和」をスローガンに1975年、国際婦人年世界会議がメキシコシティで、1995年には第4回世界女性会議が北京で開催されました。同年設立のひろしまWENETは、世界の女性と共に女性の地位向上とジェンダー平等を求めて活動し、とりわけ女性に対する暴力の根絶は女性の人権の確立ととらえ、2003年からDV防止セミナーを毎年開催し、市民への啓発と会員の学習を続けています。

そして、ひろしまWENETは「日本女性会議2007ひろしま」の開催に大きく関わりました。平和・教育・環境・男女共同参画等のテーマを研究し、特に、広島から平和を発信する意義をまとめ、広島市に開催を要請。「一人ひとり響きあっていまそして未来へ」をテーマに、2007年10月19・20日、参加者延べ7,000人、16分科会、2会場の全体会、物産展、展示、交流会などの開催が実現し、ひろしまWENET会員も実行委員

として活躍。多くの女性が自信と感動を受けた大会となりました。

また、韓国・大邱広域市女性団体協議会や在日本大韓国民団広島県地方本部婦人会、ふくしま市女性団体連絡協議会との交流を行いました。

さらに、私たちは毎年7月31日に「ヒロシマ平和の灯のつどい」を開催し、広島的女性として核兵器廃絶と世界平和を発信し続けています。

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故や2014年8月の広島市の豪雨災害では、地域での避難や防災に女性の参画が重要であることが教訓として示されました。あらゆる場面で男女共同参画の視点が必要です。今、女性や子どもの貧困と、貧困の連鎖が深刻な問題になっています。さまざまな問題を乗り越え、平和で男女ともに自立した生活ができる社会を共に目指していきましょう。

今後とも、ひろしまWENETの活動に皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

お祝いの言葉

広島市長 松井 一寛



広島市女性団体連絡会議「ひろしまWENET」におかれましては、設立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

ひろしまWENETは、市内の女性団体・グループが力を結集し、女性問題の解決を図ることを目的として平成7年（1995年）2月に設立されて以来、市民に向けたDV防止啓発等のセミナーや、原爆犠牲者の冥福と核兵器廃絶を祈る「ヒロシマ平和の灯のつどい」の開催など、幅広い活動を行ってこられました。

また、海外の女性団体とも積極的に交流を行われ、平成22年（2010年）10月の「日韓男女共同参画フォーラム」開催に当たっては、運営の中心的役割を果たされています。

こうした皆さんの活動は、本市の男女共同参画社会実現に向けた施策を推進する大きな力となるものであり、20年にわたる、貴田会長を始め、歴代

の役員、会員の皆様の御尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、本市では、今年度、平成23年（2011年）に策定した「第2次広島市男女共同参画基本計画」の中間見直しを行い、来年度からの5年間、男女共同参画社会の実現に向けて、全力を挙げて取り組むこととしています。そして、こうした取組を進めることにより、基本コンセプトである「世界に誇れる『まち』」の実現につなげていきたいと考えています。皆様には、これまでの豊富な経験や知識、行動力をいかし、より一層のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

終わりに、20周年の節目に当たり、「ひろしまWENET」の今後ますますの御発展並びに会員の皆様の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ひろしまWENET加入団体・個人会員紹介（順不同）

団 体 名	役 職	氏 名
I 女性会議広島支部	支 部 長	貴田 月美
安芸コスモスソントクラブ	会 長	好永 良子
アルコ・デ・ヒロシマ	会 長	三ヶ本 妙子
ウィメンズ・キャンサー・サポート	主 宰 者	馬庭 恭子
国際ソロプチミスト広島	会 長	稲垣 万由美
2000+7・平和	代 表	柴田 幸子
日本脳教育協会広島支部	支 部 長	鎌田 昌美
公益社団法人広島県看護協会	専 務 理 事	山本 恭子
広島県生活共同組合連合会	会 長 理 事	岡村 信秀
広島市公立保育園退職園長の会（ももくさ会）	研修部部長	宮田 保江
特定非営利活動法人ひろしま女性NPOセンター	理 事 長	中嶋 典子
広島市地域女性団体連絡協議会	会 長	月村 佳子
一般財団法人広島市母子寡婦福祉連合会	会 長	宮崎 暁美
広島市未来を考える女性の会	会 長	藤永 雅子
連合広島広島地域協議会	事 務 局 長	大原 裕二
（個人会員）阿部 京子		
（個人会員）西田 志都枝		

（2016年3月現在）

歴代会長メッセージ



香川恭子
2005 年度
会長在任

ひろしまWENET設立20年を祝ってご挨拶申し上げます。

私自身の「仕事と子育ての両立」の困難さから、女性が置かれている解決しづらい状況に問題意識を持つようになり、広島市婦人教育会館（当時）で一緒に活動していた子育て支援サークルの

仲間の紹介で、ひろしまWENETに加入しました。その頃、WENETの取組み目標の一つに「日本女性会議の開催をめざす」がありました。前会長から「いつまでも『めざす』のではなく取組みを進

めましょう」と背中を押され、開催都市として手をあげ、市長へお願いの文書を渡しました。それを承認していただき、2007年に広島で「日本女性会議」を開催することができました。この「日本女性会議」広島開催のきっかけを作れたことを誇りに思っています。

来年2017年は「日本女性会議」開催から10年になります。この10年を振り返りこれからの10年を考える年になることを願い、ひろしまWENETの躍進を祈念いたします。



日本女性会議 2007 ひろしま



信政ちえ子
2006~2008 年度
会長在任

広島市女性団体連絡会議設立20周年おめでとうございます。

2007年に日本女性会議を広島市で開催したこと、そのための準備に奔走したことが懐かしく思い出されます。

実行委員会の会議を重ね、資金集めや宣伝活動に奮闘したこと、

七夕飾りのコンクールにも出品し賞金を獲得したことや分科会「歴史探訪」を広島市女性教育センター女性団体・グループ役員と一緒に準備したこと、全国からの参加者のいきいきした姿に感動し元気

をもらったことなど昨日のことのようです。

また、韓国の大邱広域市（広島市の姉妹都市）女性団体協議会の方々と、2008年度より広島市でセミナーを開催し、大邱広域市に代表派遣、大邱広域市からの来訪と交流を重ねたことも新鮮な活動でした。



皆さまの平和やDV防止啓発、議会傍聴等の取り組み、広報など、活動の積み重ねに敬意を表します。広島市女性団体連絡会議のますますのご活躍とご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



西田志都枝
2009~2012 年度
会長在任

ひろしまWENETが設立20周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。

私の会長としての在任中は、交流の輪が広がった4年間だったと思います。前会長の信政さんから韓国との交流を引き継ぎ、平成21年9月には大邱広域市女性団体協議会から招かれて大邱広域市を訪問し交流、同年10月には清州市女性発展文化センターから招かれて忠清北道北東アジア男女共同参画セミナーに出席しました。この時は日中韓3カ国の交流でした。また、平成22年10月と平成23年6月には

大邱広域市女性団体協議会会員等を広島へ招聘し、日韓男女共同参画フォーラムを主催しました。

さらに、東日本大震災と原発事故の発生をきっかけに、ふくしま市女性団体連絡協議会との交流を始め、平成25年8月に同会の会長と副会長が初めて来広され3日間滞在。「広島のことを知らなさ過ぎた」との感想を語りました。そして、現・貴田会長にバトンタッチしました。今は様々な方との出会いが懐かしい思い出です。

ひろしまWENETの今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。



2010 年日韓男女共同
参画フォーラム

ひろしまWENETの歩み 2005年～2014年

	ひろしまWENETの出来事	広島市 (◎)、国 (○)、世界の動き (△)
2005 年 (平成 17 年)	男女共同参画フォーラム～政治と女性～(講師: 山口みつ子・桑田晴子・中村隆行・渡部阴子・香川恭子) 西部リサイクルプラザ・ゴミ処理中工場を見学 DV防止講座「DV わたしにも何かできるはずパート3」(講師: 下西さや子など) 2005 国際女性デーひろしまへ参画 ヒロシマ平和の灯のつどい 日本女性会議2007ひろしま実行委員会発足(◎右)	○「男女共同参画基本計画(第2次)」改定 ○「女性の再チャレンジ支援プラン」策定 △国連「北京+10」世界 閣僚級会合 ニューヨーク 日本女性会議 ふくい 
2006 年 (平成 18 年)	住まいの体験テーマパークを見学 DV被害者の座談会を開催 2006 国際女性デーひろしまへ参画 「日本女性会議2007ひろしま」プレイベント(その1)「ロシア天才少年少女と響きあうヒロシマの心」(◎左右) (その2)「あなたとパートナーの間にひそむ DV」(講師: 谷本絢子) ヒロシマ平和の灯のつどい(◎右) DV防止講座「デートDVって何?～お互いを尊重し合う関係を築くために～」(講師: 山口のり子)	○「国の審議会等における女性委員の登用の促進について」男女共同参画推進本部決定 ○「男女雇用機会均等法」改正 ○東アジア男女共同参画担当大臣会合 東京 ○「女性の再チャレンジ支援プラン」改定 日本女性会議 下関 
2007 年 (平成 19 年)	2007 国際女性デーひろしまへ参画 「日本女性会議2007ひろしま」プレイベント(その1)世界の女性リーダーたち～もしあなたが女性リーダーになったら～」(講師: 篠原収) (その2)映画「ガラスのうさぎ」の上映と原作者 高木敏子さんの講演 ヒロシマ平和の灯のつどい 「日本女性会議2007ひろしま」開催(◎右) テーマ「一人ひとり響きあって いまそして未来へ」 	○「DV防止法」改正 ○「パートタイム労働法」改正 ○「子どもと家族を応援する日本」重点戦略とりまとめ ○「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」策定 日本女性会議 広島 
2008 年 (平成 20 年)	DV防止講座「それって本物の愛?～愛と暴力のちがい～」(講師: 山口のり子) 2008 国際女性デーひろしまへ参画 日本女性会議2007ひろしま実行委員会総会と講演会「大助花子の響きあっていきいき人生」 キャンドル立てづくり ヒロシマ平和の灯のつどい	○「女性の参画加速プログラム」男女共同参画推進本部決定 ○女子差別撤廃条約実施状況第6回報告提出 ◎「広島市男女共同参画基本計画(第2期)」策定 ◎専管組織を「男女共同参画課」に名称変更 日本女性会議 富山
2009 年 (平成 21 年)	日韓女性セミナー デートDV防止セミナー「デートDV防止教育が今なぜ必要か?」(講師: 山口のり子) 2009 国際女性デーひろしまへ参画 ヒロシマ平和の灯のつどい デートDV防止セミナー「若者が出会うDVや望まない性的経験」(講師: 北仲千里) 韓国・大邱広域市で大邱広域市女性団体協議会と交流 韓国・清州市で「忠清北道北東アジア男女共同参画セミナー」へ参加(◎右)	○男女共同参画シンボルマーク決定 ○「育児・介護休業法」改正 ○女子差別撤廃条約実施状況第6回報告の女子差別撤廃委員会審議 ◎「広島市配偶者暴力相談支援センター」設置 日本女性会議 さかい 



	ひろしまWENETの出来事	広島市 (◎)、国 (○)、世界の動き (△)
2010 年 (平成 22 年)	DV防止セミナー「DVから脱出できる社会を作るために」(講師：北仲千里) 2010 国際女性デーひろしまへ参画 ヒロシマ平和の灯のつどい 2010年日韓男女共同参画フォーラム (◎下)	OAPEC 第 15 回女性リーダーズネットワーク(WLN) 会合 東京 OAPEC 第 8 回男女共同参画担当者ネットワーク(GF PN)会合 埼玉 ○「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」改定 ○「第 3 次男女共同参画基本計画」改定 △国連「北京+15」記念会合 ニューヨーク ◎「広島市配偶者からの暴力の防止及び被害者支援基本計画」策定 日本女性会議 京都
2011 年 (平成 23 年)	デートDV防止セミナー「あなたは大切にされていますか ～それって愛？ デートDV？」 (講師：石井三恵) 2011 国際女性デーひろしまへ参画 広島市議会傍聴 2011年日韓男女共同参画フォーラム (◎右) ヒロシマ平和の灯のつどい	◎第 2 次広島市男女共同参画基本計画策定 △UN Women 正式発足 日本女性会議 松江
2012 年 (平成 24 年)	セクハラ・DV防止セミナー第 1 回(講師：北仲千里) セクハラ・DV防止セミナー第 2 回(講師：北仲千里・安田壽子・土居達雄・柳下良悟) 2012 国際女性デーひろしまへ参画 ヒロシマ平和の灯のつどい 広島市議会女性議員との懇談会 本場のキムチづくり「在住韓国の女性に習う会」参加	○「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画策定 △第 56 回国連婦人の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワメント」決議案採択 ◎広島市男女共同参画推進センター(ゆいぽーと)の開館 日本女性会議 仙台
2013 年 (平成 25 年)	DV防止セミナー「あなたは悪くない DV支援の現場から」(講師：川瀬啓子・DV被害者・土居達雄・武田京子・柳下良悟) 2013 国際女性デーひろしまへ参画 大邱広域市女性団体協議会との交流会 (◎右下) ピンクリボンキャンペーンへ参画 広島市議会傍聴 ヒロシマ平和の灯のつどい ふくしま市女性団体連絡協議会来広 (◎右) 「第 2 次広島市男女共同参画基本計画」の学習会	○若者・女性活躍推進フォーラムの開催、提言 ○「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」改正 ○「日本再興戦略」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)の中核に「女性の活躍推進」が位置づけられる 日本女性会議 あなん(徳島)
2014 年 (平成 26 年)	DV防止セミナー「子どもが体験するDV」(講師：川瀬啓子・下西さや子・坂本真理子・林義雄) (◎下) 2014 国際女性デーひろしまへ参画 ピンクリボンキャンペーンへ参画 ヒロシマ平和の灯のつどい 広島市議会傍聴 広島市議会女性議員との懇談会 ふくしま市女性団体連絡協議会来広 「第 2 次広島市男女共同参画基本計画」学習会 広島市の豪雨災害で被災した障害福祉施設へお見舞い (◎右)	○「日本再興戦略」改訂 2014 (平成 26 年 6 月 24 日閣議決定)に「『女性力輝く社会』の実現」が掲げられる ○女性力輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW! Tokyo2014)開催 △第 58 回国連婦人の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワメント」決議案採択 日本女性会議 札幌

DV防止セミナー（報告）

ひろしまWENET 2016 DV防止セミナー DV加害者の心理とは？



講師
クロック代表
黒瀬茂子さん

2月13日に広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）で「DV加害者の心理とは？」をテーマにDV防止セミナーを開催し、約70人の参加がありました。

今年度は、DV加害者の更生プログラムに取り組んでおられる団体・クロック代表の黒瀬茂子さんをお招きして、DV加害者の心理について伺いました。

黒瀬さんは自己紹介の中で、「夫から毎日『お前はバカだ。お前は何もできない。』と言われ続けてきた。親友にも自分の恥をさらすようで、誰にも相談できず、はじめは反発したがそのうちに慣れてしまい、自分自身もそうじゃないかと思え、自分の芯がなくなってしまった。」とご自分の被害体験を話されました。ご自分の体験を含め、加害者プログラムや被害女性の支援での具体的事例を挙げながら、次のように話されました。

DV加害者の実際

DV加害者は強面でプロレスラーのような人というイメージだが、実際、プログラムを受けている人たちは、見るからにDVをするような人には見えず、普通の優しいおじさんたちです。

DV加害者に関する共通点

- ・相手が間違っていて自分が正しいと考える自己中心的な人。
- ・親から抑制されていた人やDV家庭出身の人が多く、「親父のようになりたくない」と言うけど、自分もなってしまう。
- ・コミュニケーションが取れない人。それで、プログラムでは、「おはよう」「ありがとう」などの基本的な挨拶や言葉を教えている。
- ・妻に見下されたくないという思いが強い。



黒瀬茂子さん

DV防止やDV被害者への対応について

女性が家事・育児、（夫の）ケアをするという性的役割分担、ジェンダーバイアスがある限り、DVは存在します。もう内助の功の時代は終わり、自立した二人が一緒に暮らし、どちらかに何かあったら助け合えるようにすべきです。嫌なことは嫌と言え、相手がなぜ嫌なのか聞ける関係が大事です。これはデートDVでも言えることです。

子どもとの関係も含めて否定語を使わず、いいコミュニケーションを作ってください。

クロックは被害者支援のために加害者の更生プログラムを行っています。加害男性もしたことはいけないが、一人の人間として生まれてきたのであり、人間否定をしてはいけない。被害者にも加害者にも偏見を持たず、対応することが大切です。



クロックの
パンフレット



会場の模様

DV相談員へのアドバイス

相談員の方は聞くことに徹底してほしい。相談員の方に「少しは我慢しなさい」と言われれば、相談した彼女は二度と話ができない。「あなたは悪くない。大丈夫。話を聞かせて」、「話を聞かせてくれてありがとう」と被害女性の言葉を受け止めても

られれば、どれだけ救われるか。経済的・精神的に自立する女性になることができます。

参加者アンケートでは、具体的な事例で説明されて分かりやすく、各家庭や学校をはじめ、DV対策に関わっておられる現場の方など多くの皆さんから大変参考になったと高い評価をいただきました。

被害者・加害者それぞれの立場からのDVについて具体的に新たな知見を得たお話でした。

(報告：啓発部 中嶋典子)

2016国際女性デーひろしま (報告)

3月8日の国際女性デーは、20世紀初頭、アメリカの女性たちがパンと参政権を求めて起こした行動に学び、1910年に世界の女性行動日として創立されました。これに呼応して毎年「国際女性デーひろしま」が開催されています。

今年で13回目となる「国際女性デーひろしま」の催しは、「未来を拓くのは私たち～溢れる情報からホントを見つけよう」をテーマとして、3月6日に広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）で開催され、約170人の参加がありました。

今回、開催に先立ち、選挙権年齢の満18歳以上への引き下げによる参政権への関心を高めてもらい、選挙権行使ができるようにと願って、実行委員会が「選挙に行こうポスター」を一般公募しました。

オープニングでは、世界からの連帯のメッセージの紹介と「選挙に行こうポスター」優秀作品の表彰式が行われました。その後「あなたの知らないメディアの世界」と題して日本ジャーナリスト会議広島支部代表幹事の難波健治さんの講演がありました。

難波さんは安全保障関連法について、「3つの名前を持つ法律で、

安倍首相は平和・安全法と言い、メディアはさすがに平和とは言えないから安全保障関連法と報道。私たちは戦争ができる国に変えられるから戦争法と呼んでいる」と説明されました。「この法案が採択されてから半年、大きな運動が広がっている。主権者は権力者を変えることができる。それには投票しなければならない」と選挙権行使を訴えられ、最後に、「メディアを育てるのは私たちで、事の本質をつかむ視聴者や読者になろう」と呼びかけがあり、参加者は大きな拍手で応えました。



パネル
展示

会場には、今年も実行委員会の呼びかけに海外51の国と地域から寄せられた162通のメッセージの紹介と、「選挙に行こう」ポスターの応募作品が貼り出され、また関連企画として上映する映画「おやすみなさいを言いたくて」「オレンジと太陽」の作品紹介も展示され、参加者の関心を引きました。



パレードの様



難波健治さん



「選挙に行こうポスター」表彰式



満員の会場



バザーの様

講演終了後、例年、平和記念公園までパレードが行われています。今年は雨天のため、鷹野橋商店街アーケード内での短いパレードになりましたが、多くの参加者で国際女性デーをPRするとともに私たちの願いを訴えることができました。

(報告：松村愛子)

「第2次広島市男女共同参画基本計画」学習会



広島市は、「第2次広島市男女共同参画基本計画」（計画期間2011年度～2020年度）について、計画期間の中間年である2015年度に見直しを行い、見直しに当たって市民意見も公募されました。

そこで、ひろしまWENETでは、1月25日、中区地域福祉センターで学習会を開催し、広島市市民局人権啓発部男女共同参画課長の今富雅夫さんからこの計画の推進状況や見直し内容などについてお話を伺いました。20名の参加があり、今富さんの説明後、多方面にわたって質問が相次ぎました。男女共同参画社会実現への道のりの厳しさを感じつつ、政策・方針決定の場への女性の参画など、計画の目標値の達成に向け、しっかり見守っていきたいと思います。（報告：広報部 山本紀子）

ゆいぽーとまつり

2月21日、広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）で、ゆいぽーとまつりが開催されました。ひろしまWENETは、「虐待防止シリーズ（児童虐待・高齢者虐待・DV）」のDVD上映と、これまで開催したDV防止セミナーの呼びかけチラシやWENETニュース（2003年～2016年）を展示しました。（報告：広報部 貴田月美）



広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）からのお知らせ

よろしくお願ひします

ひろしまWENET 2016年度総会

日 時：6月11日（土）10：00～12：00
場 所：広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）

ヒロシマ平和の灯のつどい

日 時：7月31日（日） 場 所：平和記念公園



2015年の「ヒロシマ平和の灯のつどい」の様相

ピンクリボン de カーブ

ピンクリボン de カーブが今年も開催されます。

日 時：5月8日（日）13：00試合開始

内 容：横浜DeNAベイスターズ戦

会 場：マツダスタジアム

カーブの応援とともにピンクリボン活動に参加してください。

ピンクリボン協賛金 1,500円

※詳細は、プレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会のHP（<http://www.breastcare-h.com/>）、実行委員会が配布するチラシをご覧ください。



WENETニュース第41号 2016年3月

発行者 広島市女性団体連絡会議（広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付）

責任者 貴田 月美